

ウラジロガシ（萌芽、成葉）

[木本] 《嗜好》



葉は厚く鋸歯が目立つ。



裏面は粉白色。



樹皮は灰褐色で皮目は目立たない。

区別のポイント

葉は薄い革質でやや鋭い鋸歯があり、先端は尾状に伸びる。裏面は、はじめは黄褐色の絹毛が密生し、後にロウ質を分泌して粉白色になる。

形態 常緑高木。高さ 20m。

分布 本州（宮城・新潟県以西）・四国・九州・沖縄

名前の由来 葉の裏面が白いことから。

葉 **〈全体〉**長さ 9 ～ 15 cm、幅 2.5 ～ 4 cm の長楕円状披針形。
〈付き方〉互生。
〈葉柄〉1 ～ 2 cm。
〈基部〉広いくさび形。
〈葉先〉鋭尖頭。
〈縁〉葉身の 2/3 以上にやや鋭い浅い鋸歯。

備考 9 では部位区別なし、シカ WG では中。

出典 2, 9, 14